

令和7年12月定例会補正予算（案）等の概要

1. 編成概要

今回の補正予算では、①国際会議やクルーズ船の誘致等で地域経済を一層活性化するほか、②子育て支援の充実や③良好な都市基盤・交通基盤の整備などに取り組む。

①地域経済の活性化

アジア各国のテレビドラマの関係者等が集まる国際会議「アジアテレビドラマ カンファレンス」を中四国で初めて開催する。同会議による集客や交流人口の拡大を目指すとともに、口ケの候補地を視察するツアーなどで松山の魅力を国の内外に発信し、地域経済の活性化につなげる。

また、クルーズ船の誘致を推し進め、外国船の寄港が増えたのに伴い、受入れに関する費用を追加で補正するほか、令和8年の4月と5月に寄港を予定するクルーズ船の受入れ準備を進めるため、債務負担行為を設定する。

加えて、債務負担行為を活用し、年間を通じた切れ目のない公共工事の発注に取り組む。

②子育て支援の充実

教育の現場では、給食用の食材価格の上昇分を市が負担し、保護者の経済的な負担を増やさず、栄養バランスと量を保った給食を提供している。今回の補正予算では、食材の価格が一層高騰し、不足が見込まれる食材購入費を、引き続き市で負担するため、追加補正する。

また、松山市立の平井保育園と堀江保育園の運営委託を継続するため、債務負担行為を設定して、令和8年度当初からの執行に必要な準備を行う。

③良好な都市基盤・交通基盤の整備

急傾斜地でがけ崩れの防災対策工事を行うほか、県が実施するJR松山駅の鉄道高架をはじめ、中島環状線や松山観光港などの道路や港湾等の事業費の一部を負担し、良好な都市基盤・交通基盤を整備する。

そのほか、愚陀佛庵や松山中央公園プール等の管理運営を円滑に行うため、債務負担行為を設定し、令和8年度当初からの執行に必要な準備を行う。

人件費については、職員の採用・退職や昇任・昇格に伴う変動等に応じた追加補正を行う。

2. 主な事業

（単位：千円）

① 地域経済の活性化

(1) アジアテレビドラマカンファレンス開催事業（M I C E 誘致促進事業）	81,000
(2) クルーズ船誘致・受入推進事業	9,188
	(R7～8 限度額) 11,200
(3) 公共工事の発注・施工時期等の平準化（債務負担行為）	(R7～8 限度額) 201,400

② 子育て支援の充実

(1) 臨時特例 価格高騰分学校給食費負担事業	78,680
(2) 平井保育園運営委託（債務負担行為）	(R7～12 限度額) 1,393,400
(3) 堀江保育園運営委託（債務負担行為）	(R7～12 限度額) 845,000

③ 良好な都市基盤・交通基盤の整備

(1) がけ崩れ防災対策事業	55,700
(2) 県営港湾・海岸整備事業地元負担金	300,016
(3) 愛媛県土木建設負担金（街路）事業	199,642
(4) 愛媛県土木建設負担金（道路）事業	22,640
・ 愚陀佛庵指定管理委託（債務負担行為）	(R7～10 限度額) 53,700
・ 松山中央公園プール指定管理委託（債務負担行為）	(R7～10 限度額) 1,191,600
・ 職員人件費	488,325

3. 補正予算の規模

（単位：千円）

区 分	12月補正額（案）		累 計	対前年同期伸率
	通常分	人件費分		
一般会計	1,899,714	554,367	242,676,637	1.86 %
特別会計	60,365	△ 66,042	151,170,183	△ 4.86 %
企業会計	—	—	50,946,900	△ 0.57 %
計	1,960,079	488,325	444,793,720	△ 0.80 %
公債管理特別会計	—	—	17,747,600	
合計	1,960,079	488,325	462,541,320	

4. 議案等

○予算案	15 件
○条例案	5 件
○事件案	14 件
○人事案	2 件
(計)	36 件)
○報告	6 件